

БИТОВОЕ МОДАНИЕ



SHADOW ROOTS-1

SHADOW ROOTS GUIDE

シャドールーツの手引き

シャドールーツって何？ どんなバリエーションがあるの？ やり方のポイントは？
3タイプのプロセスを通してシャドールーツ初心者の疑問にお答えします。

写真：菅野幸恵

Masaya Hiramoto

平本雅也



BLITZ R-EVOLUT

Ryo Matsubara

松原 凌



3つの型で
ベーシックをマスター

Haruaki Matumura

松村明輝



Reoma Taguchi

田口玲央馬



© @haruaki_matumura



まつむらはるあき／1981年8月17日生まれ。茨城県出身。国際理容美容専門学校卒業。Balayage & highlightスクール【Global Design School】のCEO、REVO・Blitzのエグゼクティブディレクターを務める。

© @ryo_matsbara



まつばらりょう／1995年3月16日生まれ。千葉県出身。国際理容美容専門学校卒業。現在BLITZ R-EVOLUT店長を務めるパレイヤージュの達人。

© @reonestagram



たぐれおま／1995年5月17日生まれ。茨城県出身。国際理容美容専門学校卒業。現在新店舗lou スタイリスト。上質なツヤカラーが得意。

© @masaya_revo



ひらもとまさや／1996年8月31日生まれ。茨城県出身。パリ総合美容専門学校卒業。現在REVO 原宿スタイルリスト。カラー講師も務める。

WHAT SHADOW ROOTS

— 定義 —

シャドールーツ

根元を暗くして

or

根元を明るくして

陰影をつくる技術である

「シャドールーツ」とは、その名の通り「根元(Roots)」に「影(Shadow)」となる暗い色を入れてデザインをつくる技術で、パレイヤージュのひとつ。下右図のように根元と毛先の境目をなじませたり、逆にコントラストを強くしたり。根元の幅を広くしたり狭くしたりとそのバリエーションは無限大。近年は根元に明るいカラーを入れるパターンも人気。

HOW TO

1 全頭ブリーチ

→ オンカラーで陰影をつくる

シャドールーツの工程にも色々あるが、全頭ブリーチしてオンカラーで根元と毛先を塗り分けてデザインをつくる方法が最もメジャー。全頭ブリーチするのでカラーチェンジが比較的容易で、次のデザインチェンジもしやすい。



2 根元を外してブリーチ

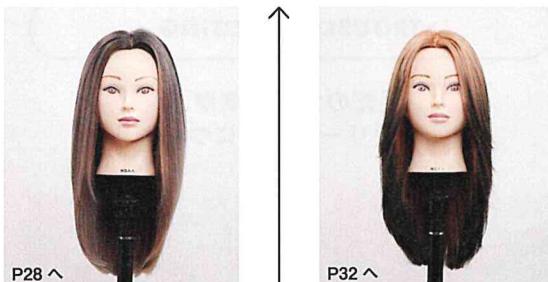
→ オンカラーで色味を調整

ブリーチの段階で根元を外してデザインをつくる方法も。難易度は高いが、オンカラーが褪色した後もデザインが残るので、より長くシャドールーツを楽しみたい方におすすめ。

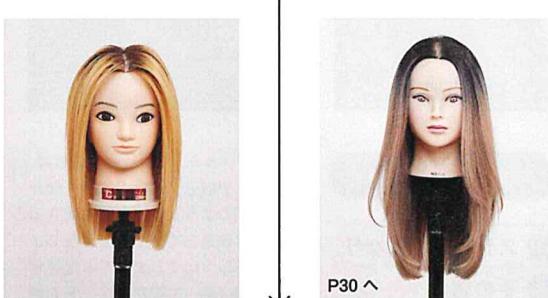


DESIGN

根元・毛先の境目をなじませる



根元の幅が狭い



根元の幅が広い

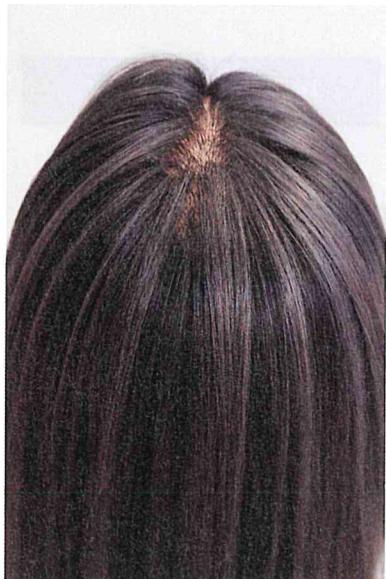
根元・毛先の境目をパキッと分ける

SHADOW ROOTS TYPE 1

根元が暗い

根元幅狭

境目ぼやかす



POINT

繊細な印象に仕上がり、挑戦しやすい

⇒ 「ブレンド」と「タップ」で境目をぼやかす

根元と毛先の境目がぼけた繊細な印象のデザイン。全頭ブリーチ後、オンカラーでシャドールーツを入れる。境目をぼやかすため、「ブレンド」と「タップ」という、パネル上でグラデーションをつくる技術を使う。アウトラインは「タップ」、それ以外は広範囲でぼかせる「ブレンド」を使う。



ブレンド
⇒ P29 3段目へ



タップ
⇒ P29 下段へ

RECIPE

【ブリーチ】 1剤／パウダーブリーチ 2剤／OX 6% (2倍) ※ブラックス剤を 10% 使用
(使用ブランド : Addictly)

→ 比較しやすいよう、TYPE1～3で統一

【根元】 1剤／5Lv スモーキートバーズ：
5Lv サファイア=1:1 2剤／OX 3% (等倍)
(使用ブランド : Addictly)

→ TYPE1、2で統一

【毛先】 1剤／13Lv カッパー：13Lv イエロー：
13Lv レッド=1:7%:3% 2剤／OX 3% (等倍)
(使用ブランド : ORDEVE)

→ TYPE1～3で統一

TROUBLE SHOOTING

毛先のカラー剤が、
根元のブリーチ部分についた！



ヌリヌリ



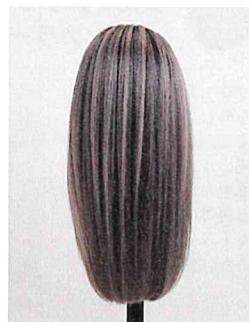
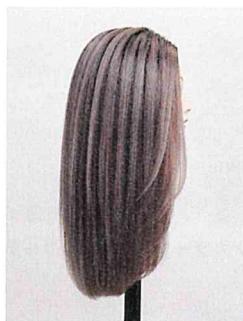
ついちゃった！

失敗が起きる3大地点

- ① スライスの重なり
- ② 手の汚れ
- ③ コーミング

シャドールーツでよくある失敗は、
ブリーチ部分に根元のカラー剤が
ついてしまうこと。失敗が起きる
場面は決まっているので注意しよ
う。もしついてしまっても慌てず
に。OX 6%、2倍のブリーチを微
量塗布後、クリア剤をもみ込むと
斑点は綺麗に消えてくれる。

根元と毛先の
色が自然にぼ
やけています



ブリーチ



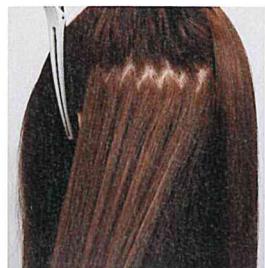
トップのパネルはまず表からブリーチを塗布し、



ブリーチはたっぷり塗布して、ムラを防ぐ。



ハケでブリーチを置き、コーミングでのばす。スライス幅はコーム幅に合わせると塗りやすい。



根元に線が出ないよう、ギザギザにスライスを取る。厚みはブリーチが浸透するくらい。

オンカラーのブロッキング



ブリーチを水洗後、ドライ。アウトラインを5mm幅スライスで分け取り、バックを後頭骨上下、サイドでブロッキング。

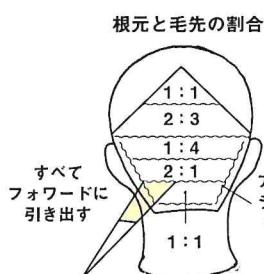


つむじ付近は髪が動き、根元が目立ちやすい部分。他のセクションより根元近くまでブリーチを塗布する。



裏からも塗布してパネルの上へ塗り伸ばしていく。

ブレンド



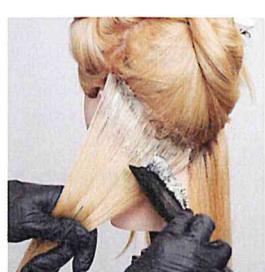
パネルごとに根元と毛先の幅を変えて、パネルが重なった時に陰影をつくる。バックの塗り分けは上図参照。



パネルをしごくように挟む指を上下させ、もみこんでパネル上でカラー剤をなじませ、グラデーションをつくる。これが「ブレンド」。



次に毛先のカラー剤を塗布してコーミング。



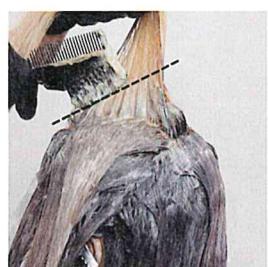
オンカラーは、1パネルずつ根元と毛先を1セットで塗る。まず根元のカラー剤を塗布して、

塗り收まり



オンカラーの塗り收まり。15分放置後、水洗。

トップのオンカラー

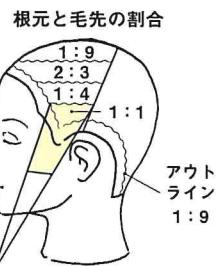


トップの髪は、前に向かって明るい部分が増えるように、パネルに對して上図のように根元と毛先のカラー剤を塗布する。



顔周りは毛先の明るい割合が大きいので、「タップ」で境目をなじませる。その名の通り、境目を指の腹で何度も軽くつまみ、タップする。

タップ



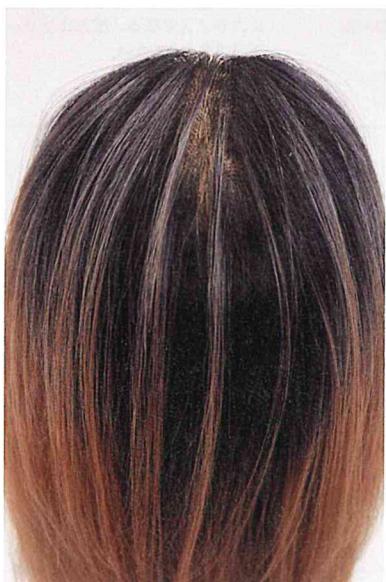
サイドと顔周囲は上図のように、根元と毛先のカラーの割合を変える。

SHADOW ROOTS TYPE 2

根元が暗い

根元幅広

境目パキッと



POINT

根元のスジ感を楽しめる

→ パネルの重なりをズラしてブリーチし、陰影をつくる

根元と毛先の境目をあまりなじませず、メリハリのあるスジ感を楽しめるデザイン。ブリーチ時点での陰影をつけるので、褪色後もシャドールーツデザインを長く楽しめる。レンゲスが長ければ、今回のように根元を深めに、短ければ浅めにするとバランスが良く見える。パネルごとに根元と毛先の割合を変えことで、髪が落ちたときにそのデザインの違いによって陰影ができる。

RECIPE

[ブリーチ] 1剤／パウダーブリーチ 2剤／OX 6% (2倍) ※ブレックス剤を10% 使用
(使用ブランド: Addictly)

→ TYPE1 と同様

[根元] 1剤／5Lv スモーキートバーズ：5Lv サファイア=1:1 2剤／OX 3% (等倍)
(使用ブランド: Addictly)

→ TYPE1 と同様

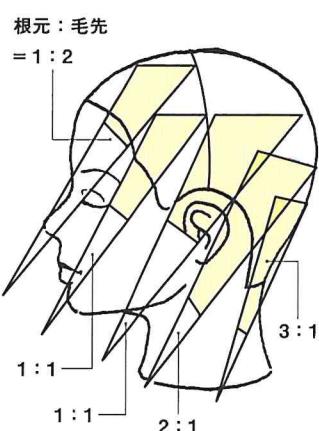
[毛先] 1剤／13Lv カッパー：13Lv イエロー：13Lv レッド=1:7% : 3% 2剤／OX 3% (等倍)
(使用ブランド: ORDEVE)

→ TYPE1 と同様

ブロッキング



パネル図



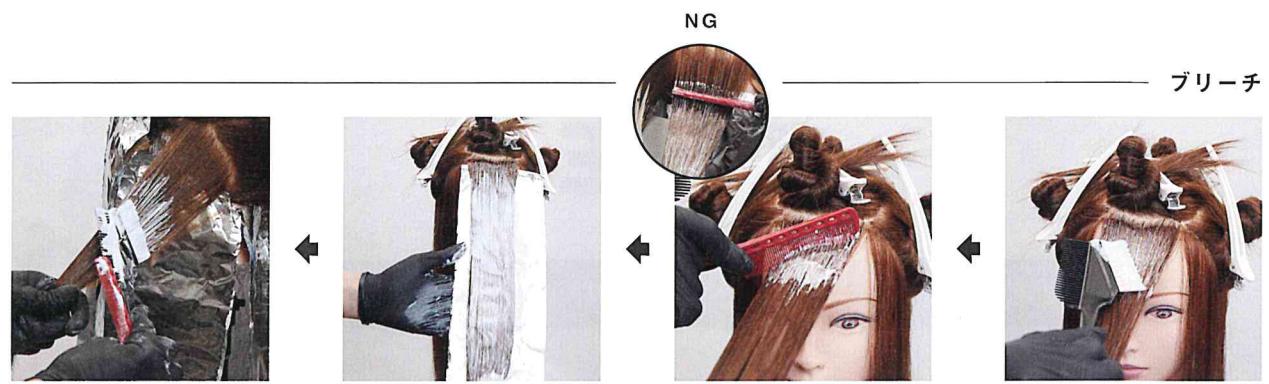
AFTER



アウトラインは5mm幅で分け取り、頭の丸みが変わる地点でバック3つ、サイド、フロントで分ける。これによって、塗布時に他のパネルにブリーチがついてしまうのを防ぐ。

パネルごとにブリーチ幅を変えて、重なったときの陰影をズラします





次に他のブロックの中間を塗布。フォワードに引き出し、前上がりに塗布。P30 のパネル図のよう、部位ごとにブリーチ幅を変える。

パネルをホイルに乗せて広げ、すみずみまでブリーチが行き渡るようさらに塗布する。アウトライン一周をこのように塗布していく。

ハケでのせたブリーチをコームで伸ばすことで繊細な仕上がりに。コームはパネルに対してまっすぐ入れるのではなく、斜めに入れる。

ブリーチ塗布は線が出ないようにハケを斜めに入れる。アウトラインはかき上げたときや結んだとき目立つので、根元ギリギリまで塗布。

塗り收まり



サイドのブリーチ塗り收まり。



トップつむじ下までの馬蹄セクションは、ジグザグに取る。3cm幅と1cm幅のパネルを交互に入れると表面のスジにメリハリが出る。



次のパネルは、前のパネルのブリーチ幅に合わせて塗布。ディバイディングラインがなじむよう、境目のブリーチ量は少な目でOK。



次のパネルにつかないよう、塗り終わったパネルの根元にペーパーを貼る。

水洗後



水洗後、根元と毛先のコントラストを強くつけるため、根元はドライ、毛先はウェットの状態に。



水洗時は、トップのブリーチとアンダーのブリーチが混ざらないよう写真のようにまとめて、それぞれ洗い流す。

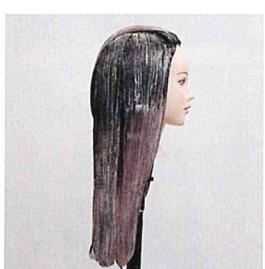


1回目のブリーチをはいで、上からブリーチを再塗布。さらに20分放置。



バックのブリーチ塗り收まり。このまま20~30分放置。

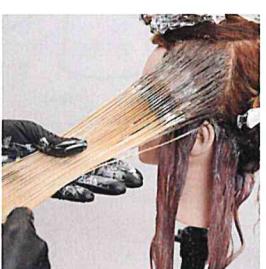
塗り收まり



オンカラーの塗り收まり。15分放置後、水洗。



トップの馬蹄セクションは繊細にブリーチが入っている場所。パネルの表裏からブリーチでつくったデザインをなぞる。



フォワードに引き出してオンカラー。毛先→根元の順で塗布。コントラストを強くしたいので、境目はあまりオーバーラップさせない。



アウトラインは暗くしたい幅に根元のカラー剤を、残りに毛先のカラー剤を塗布。その他はブリーチのデザイン通りにオンカラーする。

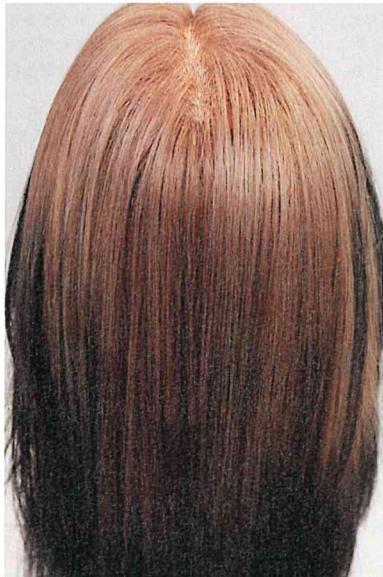
SHADOW ROOTS TYPE 3

根元の色で遊ぶ
のもおすすめ！

根元が明るい

根元幅広

境目ぼやかす



POINT

個性的な印象にしたい人にオススメ

⇒ 境目は、バックコーム＆トリートメント使いでしっかりなじませる

昨年、歌手のビリー・アイリッシュが根元のみグリーンに染めたことで注目された、根元に明るい色を配置するデザイン。全頭ブリーチ後、トナーで根元の色を入れ、最後に毛先のデザインをつくる。奇抜な印象になりやすいデザインなので、根元と毛先の境目のぼやかしは念入りに。毛先のオンカラー時はバックコームを入れた上で、中間をトリートメントでうすめ、自然につながるように仕上げた。

RECIPE

【ブリーチ】 1剤／パウダーブリーチ 2剤／OX 6% (2倍) ※ブレックス剤を10% 使用
(使用ブランド：Addicthy)
→ TYPE1と同様

【根元】 1剤／13Lv カッパー：13Lv イエロー：13Lv レッド＝1：7%：3% 2剤／OX 3% (等倍)
(使用ブランド：ORDEVE)
→ TYPE1 [毛先] と同様

【毛先】 1剤／3Lv クールブラウン：5Lv スモーキートバーズ＝1：1 2剤／OX 3% (等倍)
(使用ブランド：MATERIA、Addicthy)

トナー

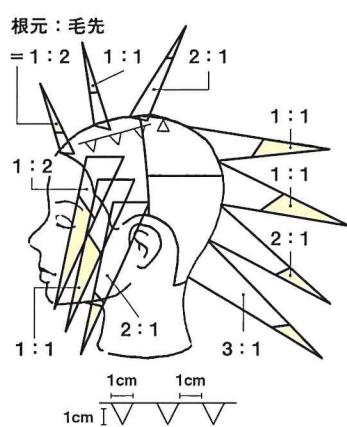


全頭ブリーチ後、シャンプー台でトナー塗布。15分放置。

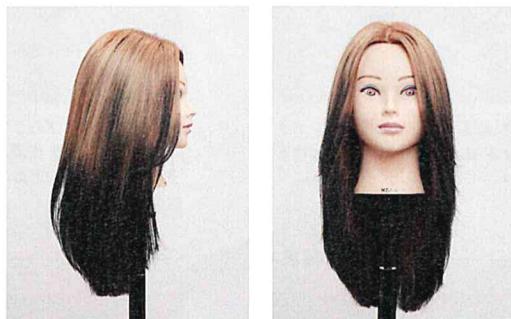


トナー After。ここから根元を残して毛先のカラーを入れていく。

パネル図



AFTER



オンカラー



先ほどと同じように、中間にトリートメント、毛先にカラー剤を塗布して境目をなじませる。



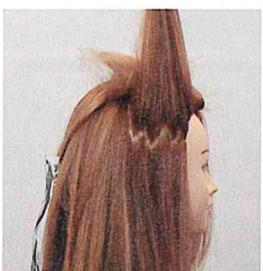
バックはつむじ下を1cmチップでウイーピング。



前上がりの形に、明部と暗部の境目付近にトリートメントを塗布。毛先に暗部のカラー剤を塗布し、トリートメントとなじませながら境目をぼかす。逆サイドも同じ。



表面は1cmチップを取り、ハイライトを入れる。



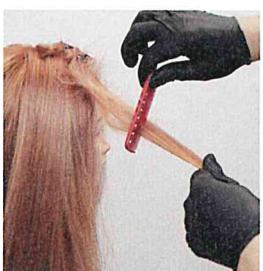
厚みのあるパネルを取る際は、ジグザグにすくってより暗部がぼけるようにする。



同じように、境目付近にトリートメント、毛先にカラー剤を塗布し、なじませる。



顔周りのパネルは毛先2／3を暗部に設定。前上がりにカラー剤を塗布していく。



次にサイドを塗布。前上がりのデザインにするため、フォワードに引き出す。境目をぼかすため、バックコームを入れる。



後のパネルは、サイドとつなげるように暗部の割合を設定。



トリートメント部分からコーミングし、再度カラー剤を塗布すると、全体に行き渡り、塗り漏れが起づらい。



ホイル上で毛先のカラー剤を塗布。



厚みのあるパネルの場合、中間部のトリートメントを塗布後、パネルをねじり、

塗り收まり



オンカラー塗り收まり。15分放置後水洗。



全頭を塗布し終わったら、再度すべてのパネルの境目を指でぼかす。



同じようにバックコームを入れ、カラー剤を塗布していく。

SHADOW ROOTS-2

スピード習得&集客できる

シンプル&時短テク

新人スタイリストでもバレイヤージュ・エアタッチを提案する
ALIVEのスタンダード「ルーツ」テクを紹介します。

写真：甲野菜穂美

ALIVE

Yuya Matsunaga

松永優哉

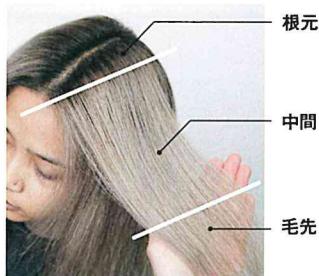
Ryo Shirato

白土 輝

スピード施術のポイントはシンプル化

塗り分ける

毛先に向かう明るいグラデーションは根元・中間～毛先の色味選定＆塗分けでつくる。根元は濃く、地毛に近い6レベル以下、シャドールーツ中間～毛先は10レベル以上を使用。デザインに合わせて選定。根元が明るくならないようにシャドー部分のオンカラーは重ね塗りがオススメ。全体に透明感をつくりながらナチュラルにしたければエアタッチで(40ページ)。



型を持て！

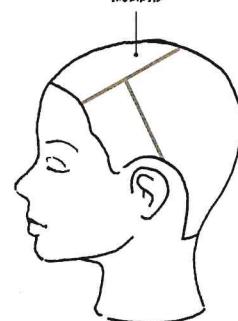
ブロッキングの定型化同様、フォーマットを持つとスピードがアップし、習得も早くなる。ALIVEの場合、エアタッチやバレイヤージュのお客がほとんどのため、シャドールーツは全頭ブリーチした方への次回提案や暗くしていく方に提案。シャドー部分をつくるオンカラーは頭皮には塗布せず、根元ギリギリからブリーチ部分にオーバーラップさせる。次回同じところを塗布しやすいように、直線的に塗布するのがポイント。



ブロッキングに工夫

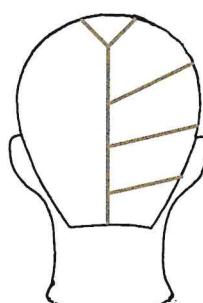
バレイヤージュ系のカラーデザインは表面の髪を明るく作ることが多い。つまり、トップの馬蹄形ブロッキングが重要。スタイルによってブロッキングは若干変わるがどんなスタイルも基本はコレ。塗布作業の効率も良くなる。

馬蹄形

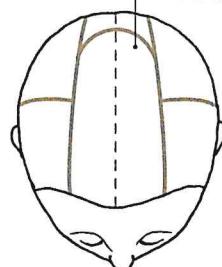


毛先との明度差が少ない場合

スライスのイメージ



馬蹄形



白土 謙

しらとりょう／1994年7月7日生まれ。東京都出身。資生堂美容技術専門学校卒業後、ALIVEに入社。2017年スタイリストデビュー。2018年5月、ALIVE吉祥寺店オープンに伴い23歳で店長に就任。現在は代表として経営にも携わる。

松永優哉

まつながゆうや／1995年12月20日生まれ。京都府出身。京都理容美容専門学校卒業後、2016年ALIVE入社。翌年4月にスタイリストデビュー。ミドル世代の指名も多く、幅広いバレイヤージュデザインを手掛けている。

若手スタイリストたちが活躍するサン、ALIVEは早期育成をテーマに教育改革を行ってきた。現在、吉祥寺店の代表を務める白土さんはその教育現場の中心にいる一人だ。

「僕のサロンはバレイヤージュ・エアタッチのお客がほとんどで、根元のデザインはつねに気になるところ。シャドールーツは毎日やっているデザインで、全頭ブリーチした方の次回来店や暗く戻していく際に使うことが多いです」

早期教育に成功している理由は、技術のフォーマット化にある。デザインに合わせて複雑になりがちな塗布やブロッキングを極力シンプル化。カラーは髪質により仕上がりが異なるため、数をこなすことで経験値を高めていく。境目をぼかしたり、塗布をジグザグにするなど次のリタッチが複雑になるのでやらない。

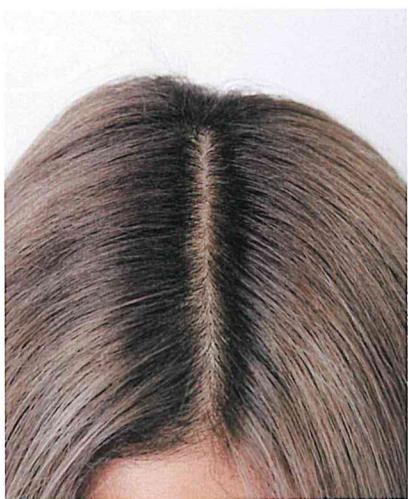
「バレイヤージュの登場で根元をデザインするという概念が生まれた。まだ進化する余白はありますね」

CASE.1 塗布面積の工夫でグラデ根元に

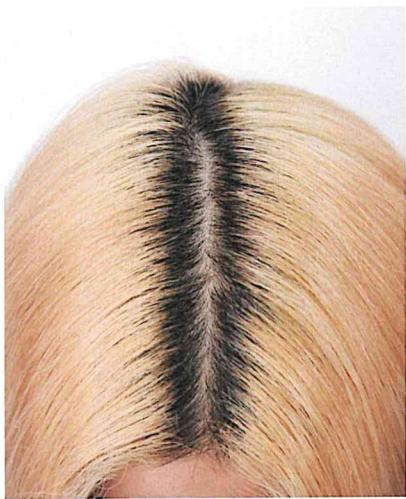




AFTER



BEFORE



CASE.1

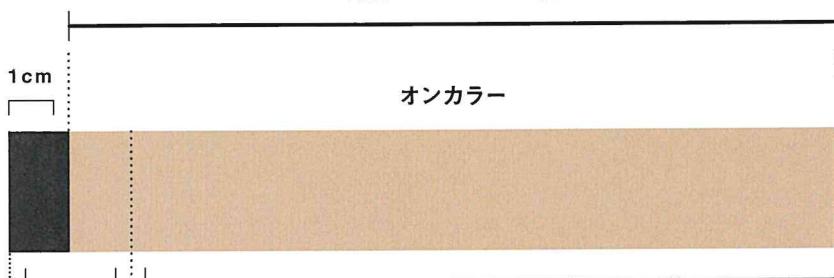


塗布面積の工夫で
グラデ根元に
プロッキング通りに塗布すれば自然。
一番シンプルなテクニック。

RECIPE

ブリーチ

1剤／パウダーブリーチ 2剤／OX 4.5% (2倍)
(使用ブランド : Addicty)



(根元)

1剤／3Lv シルバー : 6Lv ナチュラルブラウン : 4Lv ナチュラルブラウン = 1 : 1 : 20%
2剤／OX 3% (1.5倍)
(使用ブランド : Addicty)

(中間～毛先)

1剤／13Lv シルバー : 13Lv アメジスト : クリア = 1 : 1 : 4
2剤／OX 6% (1.5倍)
(使用ブランド : Addicty)

POINT

1cm 残した新生部からオーバーラップさせて根元付近を暗く染めて毛先に向かってグラデーションをつくるシンプルなシャドールーツテクニック。表面の根元は前上がりに暗く染め、中間部以下のセクションは根元の暗い部分を多くすることで、上に被さってくる表面の髪とのズレをつくる。



STYLIST

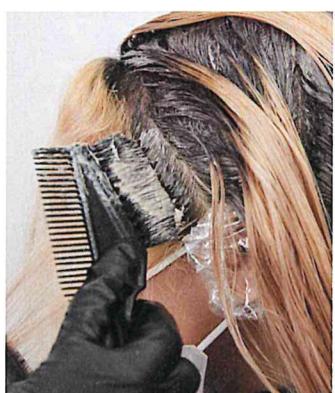
松永優哉

PROSESS

ブロッキング



分け目をセンターにした馬蹄形のトップ、センターと耳前で分けたセクションが基本。ここからバック・サイドは斜めスライス、トップはタテスライスで取っていく。



フェイスラインはダメージで色が入りやすいので取り分けておき、トップにつながるよう根元だけ塗布する。



顔側は明るい面積を残したいのでトップは前上がりに。下のパネルは根元からなので、被さった時に明度差がデザインになる。



根元の塗布量は多すぎるとパネルが重なった際にラインが出すぎたり、ハケあとがつきやすいので、少なめに。



放置時間は 15 分程度。毛先が明るいデザインの場合、チェックの回数を多くすると根元の暗いカラー剤がつきやすいので注意。また、毛先に色が入りやすい状態なので、根元にはアッシュ系は使わないほうがベター。



中間～毛先は塗布量を多めに。その後、再度根元に暗いカラー剤をコームで再塗布し、中間部にオーバーラップさせる。



RECIPE

ブリーチ

1剤／パウダーブリーチ 2剤／OX 4.5% (2倍)
(使用ブランド: Addicty)

新生部
(黒)

エアタッチ

1剤／3Lv グレーパール : 4Lv ナチュラル = 1 : 1
2剤／OX 3% (2倍)
(使用ブランド: Addicty, NASEED)

オンカラー



(根元)

1剤／3Lv グレーパール : 4Lv
ナチュラルブラウン = 1 : 1
2剤／OX 3% (1.5倍)
(使用ブランド: Addicty, NASEED)

(中間・毛先)

1剤／13Lv シルバー : 13Lv サファイア :
13Lv スモーキートバーズ : 13Lv パープルガ
ーネット : クリア = 1 : 20% : 20% : 5%
2剤／OX 3% (2倍)
(使用ブランド: Addicty)

POINT

全頭ブリーチした状態にエアタッチで影の部分をつくりていき、さらに根元を暗く染めて毛先に向かって明るくグラデーションをつくっていくテクニック。エアタッチ部分が同じなので、伸びてきたときにとても自然に見える。

CASE.2



エアタッチでつくる
ナチュラルシャドールーツ
伸びてきたときに
一番自然に見えるグラデーション。



STYLIST

白土 謙

PROSESS



エアタッチ終了。根元付近に明るい部分が残り、つなぎの中間部分に影ができているのがわかる。

エアタッチで影をつくる



全体をエアタッチして、風で飛ばした短い部分を暗く染めていく。全頭ブリーチして根元が伸びてきたダメージ毛にオススメしやすいのは再度ブリーチをするよりもダメージが少ないため。ブリーチしてあるので透明感も残せる。

オンカラー 根元②



根元を再塗布する。根元をしっかりと染めることだけでなく、中間部に若干塗布をオーバーラップさせることで境目をなじませる。

オンカラー 中間～毛先



毛先は明るさを残したいので、13Lvに設定。ここはバレイヤージュでぼかしが入るので、中間から一気に毛先まで塗布する。

オンカラー 根元①



さらに根元を染めていく。エアタッチの薬剤よりも明度を暗くすることで褪色してきたときに自然につながる。今回は4レベル程度に。

仕上がり



エアタッチで影をつくり、トップの根元は顔側に明るい部分が出るように前上がりに明るくなっている。今回は全体に明度差をつくらない設定なので、とてもナチュラルな仕上がりに。ブリーチベースの透明感も活かせた。

塗布終了



塗布終了。中間～毛先はブリーチ毛なので基本的に低アルカリを使用し、またクリア剤でアルカリを弱めることが大事。

SHADOW ROOTS-3

月100回 シャドールーツをする男

桑原流ナチュラルグラデ How to

なじむデザインで、立体感も楽しめる。
そんなナチュラルなデザインの秘訣をご紹介。

写真：幸地一成

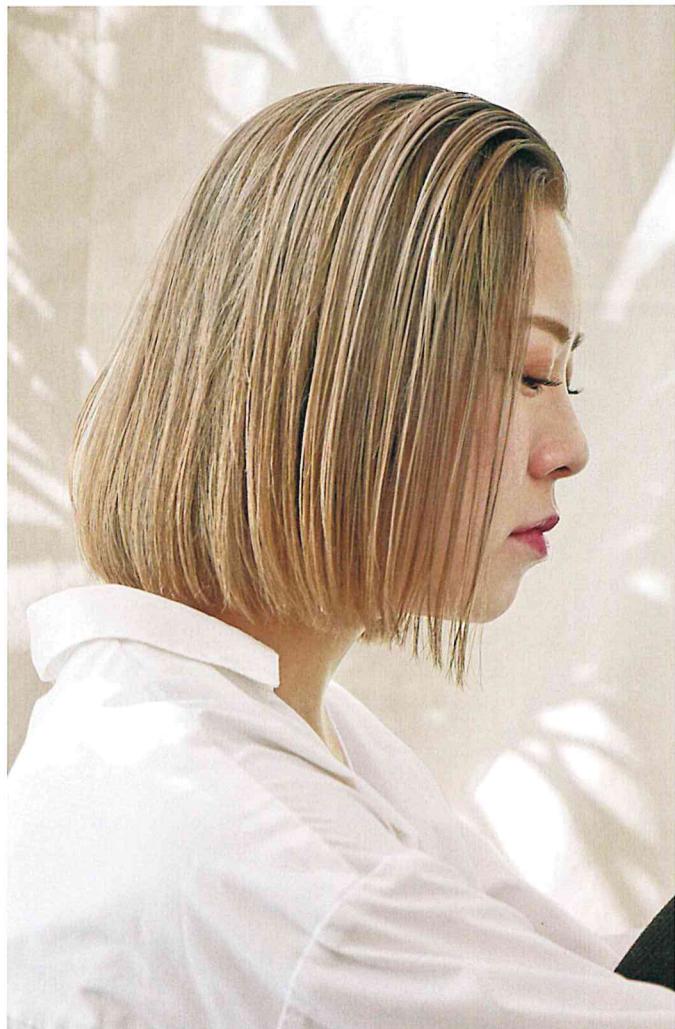
C crew



Taiki Kuwabara
桑原大貴

自然なグラデに見せる 3つのワザ

NATURAL GRADATION TECHNIQUE



1 中間の乳化で やわらかくつなぐ

根元と毛先をつなぐ際、中間部分でバツッとラインが出てしまうときれいなシャドールーツにならない。きれいなグラデーションに仕上げるコツは、根元と毛先の薬剤の中間地点での乳化だ。また、色が沈み込まないような薬剤選定もポイント。詳細はP46の解説へ。

2 ブロッキングで 立体感＋スジ感

モヒカンラインをジグザグにブロッキングすることでほんのりとしたスジが生まれ、デザイン性もアップ。さらにモヒカンラインとそれ以外で暗くする部分の割合を変えることで立体感も生まれる。

3 安定感のある 「ピンク」を補色で使用

桑原さんが大切にしているのはオンカラーの安定感。無彩色やベージュ系でまとめることが多く、その際に黄味を打ち消す補色としてピンク系を使用する。パープルを避けるのは、ダメージによって部分的に沈み込むのを防ぐため。

デザインの 組み合わせ無限大

バレイージュ、エアタッチなどを組み合わせると、月に100回以上シャドールーツを入れるという桑原大貴さん。立体感のある自然なグラデーションに仕上がるのが特徴だ。桑原さんはシャドールーツを「全頭ブリーチから次のデザインに移行する間に楽しめるデザイン」と位置付けている。そのため、褪色の過程では根元に赤みが出づらく、次回以降新しくデザインを入れる際に邪魔にならないようなアプローチをかけている。「薬剤選定と薬剤のつなげ方にポイントがあります。その分、ブリーチワークなどは次回のリタッチを考えて塗布ムラがないようになります。ブリーチベースのつくり方はシンプル。オンカラーで立体感や透明感などをつくっていくのが僕の考え方です」
ナチュラルだけど立体感のあるデザインを楽しめる、そんな“桑原流”的秘訣を掘り下げていく。

桑原大貴

くわばらたいき／1990年7月26日生まれ。新潟県出身。新潟理容美容専門学校を卒業後、都内1店舗を経てALBUM入社。2021年4月より渋谷のC crewに副代表として参加。カラー技術や薬剤知識に定評があり、セミナー講師なども務める。

CASE.1 肌なじみのよいベージュ系じんわりシャドールーツ





ナチュラル感を生むポイント

POINT. 2

セクションごとに
明暗の割合を変える



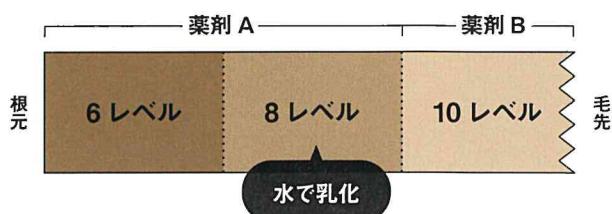
暗 明

モヒカンライン	2 : 8
モヒカンライン以外	4 : 6

髪の表面と、内側で明るい部分・暗い部分の差をあえてつけています。内側の暗い割合を多めにすることで、表面からじんわりと自然なグラデーションができる。

POINT. 1

中間部分を
水で乳化



根元の中間部分を乳化させ、その後塗布する毛先の薬剤と自然につながるよう塗布していく。



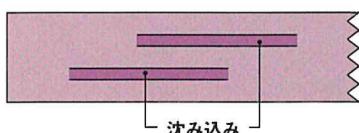
水スプレー ⇒ 薬剤塗布を行い、中間部分で乳化。
指でなじませるようにして塗布していく。



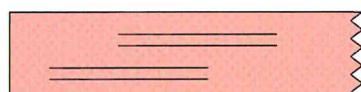
POINT. 3

補色はピンク系がオススメ

バイオレット系の場合



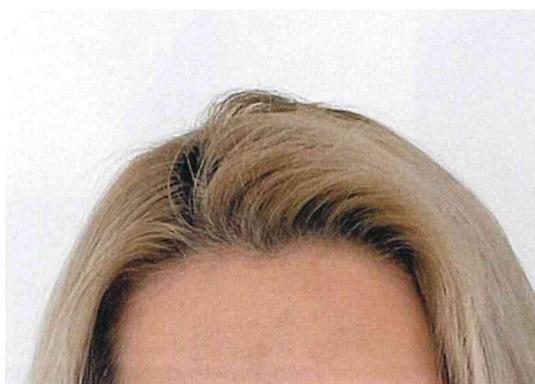
ピンクの場合



黄味をおさえるために補色としてピンク系を使うのが桑原流。バイオレット系の場合、ダメージ部分などに深く色が入りすぎる場合があるから。ピンク系はマイルドに仕上がり利、色が入りすぎないので、その後のカラーへの影響も少ない。

CASE.2

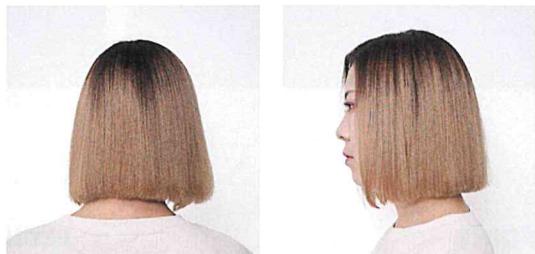
BEFORE



複数回のブリーチ履歴あり。ダメージ毛。

CASE.1

BEFORE



昨年の12月に全頭ブリーチを行い、その後シャドールーツの履歴あり。
新生部は6cm。

AFTER



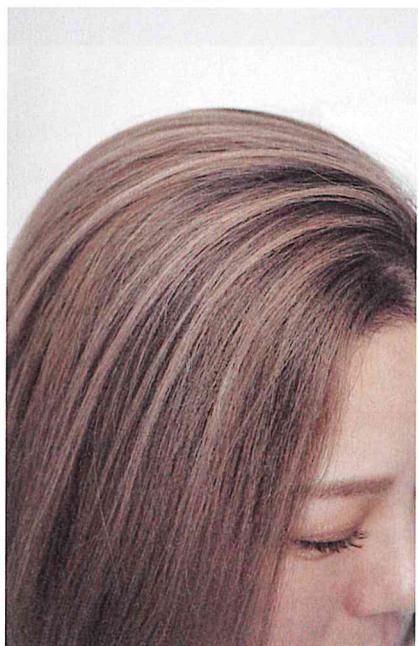
毛先18レベル、根元6.5レベルのシルバー系。黄味っぽさが残っていた
履歴をシャドールーツのテクニックと薬剤選定によってきれいなシルバーに。

AFTER



毛先10レベル、根元6レベルのグレージュ系。長く伸びていた新生部
をシャドールーツによって自然につないだ。

AFTER



BEFORE



CASE.1



乳化と無彩色カラーでつくる ナチュラルデザイン

肌なじみの良いベージュ系にまとめるテクニックを全部ご紹介。

POINT

1

グレー or ベージュ系の無彩色でまとめると、次回のカラーチェンジもしやすい

2

補色はピンク系で！
深く入りすぎるムラサキはNG



RECIPE

根元ブリーチ

1剤／パウダーブリーチ
2剤／OX 6% (2倍)
(使用ブランド：FIBERPREX)

中間～毛先ブリーチ

1剤／パウダーブリーチ：クリア剤 = 1 : 1
2剤／OX 3% (2倍)
(使用ブランド：FIBERPREX、FIBERPREX)

根元

1剤／[6Lv ヴェールグレイ : 5Lv モノトーン = 2 : 1] : 8Lv ヴェールマゼンタ : 6Lv
ピンクパール = 1 : 10% : 10%
2剤／OX 2% (2倍)
(使用ブランド：KOLESTON PERFECT +、
F.Color BL カラー、KOLESTON PERFECT +、
SOFTOUCH)

毛先

1剤／[10Lv ヴェールグレイ : 6Lv ブラウン : コントロールカラー プラチナ = 1 : 10% : 10%] : 8Lv ヴェールマゼンタ : 6Lv
ピンクパール = 1 : 20% : 20%
2剤／OX 3% (3倍)
(使用ブランド：KOLESTON PERFECT +、
SOFTOUCH、KOLESTON PERFECT +、
KOLESTON PERFECT +、SOFTOUCH)

STYLIST 桑原大貴



PROSESS

ブリーチ



パネルの塗布終わり。これを全頭に施していく。



その後、根元5mmまでと、ディバイディングラインまで両側に薬剤をのばして塗布。



根元からブリーチを入れていく。表裏両面が貫通するスライス幅(5mm目安)でまずは根元から少し離して塗布。



昨年12月に全頭ブリーチを行い、根元にシャドールーツを入れた。そこからカラー履歴はなく、新生部は6cmに伸びている状態。



モヒカンラインでジグザグにブロッキング。



ブリーチの後、水洗。中間～毛先の方にやや赤みが残る。



中間～毛先の明度の高い部分に、オキシ3%のブリーチ剤を塗布。

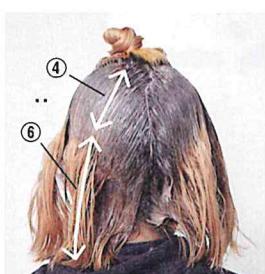


根元ブリーチの塗布終わり。

オンカラー



モヒカンセクションの根元を塗布。こちらは暗くなる部分が2、明るい部分が8の割合になるよう設定。



モヒカンセクション以下は暗くなる部分が4、明るい部分が6の割合になるよう設定。



パネルの裏側からも塗布。



モヒカンラインより下のセクションからシャドールーツを施す。粘性がゆるめの薬剤で、ライン感がでないようコーミングをあえて入れずに根元から塗布していく。



毛先の薬剤を塗布後、先ほどつくりたつなぎの部分から毛先までつながるよう、もみ込む。



指を使って乳化させ、中間のつなぎの部分をつくる。



水を吹きかけた中間部分に根元の薬剤を塗布。



中間部分に水スプレーで髪に水分をあたえる。

売れてます!!

髪書房の
イチオシ本

カラーで売れるための3冊シリーズ

1

カラー履歴超複雑時代、
全国のトラブルを集めた

カラートラブル シューティング

福永圭祐 [U-REALM]

企東京・銀座   1.1万人

2

施術コスパ超級!
チームで稼ぐ! チームが育つ!

お客様6人 同時施術の エアタッチ

中村雄樹 [REDEAL]

企埼玉・大宮  4.5万人

3

似合い“すぎる”から
キャバ超え人数のVIPが離れない!

最旬ombre★シャドー ルーツデザイン

ムラタサダヒロ [three]

企宮城・仙台  4.7万人

お買い得!!

B5判変型
本文72頁 + 動画付き

各3,080円
(税込み)

動画
たっぷり

有料の
オンラインサロン、
セミナー、
動画配信で
人気の3人の

